

図書館だより

新入生の皆さん、大阪産業大学入学おめでとうございます。
図書館へようこそ！

総合図書館長 河井徳治



図書館で発見しよう！
君自信の生涯の心の友を！
科学する眼で自然や世界の思いがけない
仕組みを！

イラスト：環境デザイン学科 北村知子

まず、入り口のガラス扉を押し開いてご覧なさい。正面のレリーフはいかがですか。右側に掛かった日本画は、梅雨の朝の大東市の一角です。いかがですか。

階段を下れば、週刊誌を自由に読めますが、まず右の階段を上がって正面のレファレンス・カウンターの左手に進み、一度開架図書の本棚を巡って見てください。そこで物足りなければ4階まで上がって歩いて見ましょう。膨大な図書に出会うはずですが、まさに本の森です。そこで自分の気になる本を手にとって見てください。「エ？こんな本が！」ときくと驚くはずですが、森の中の一木一木の樹木にも世界があります。その書物の命の奥深さに出会うはずですが、著者たちの人間性の捉え方が、鏡のように自分の姿を浮き彫りにしてくれるでしょう。政治や経済の動きのさまざまな捉え方が、新鮮な知識の感動とともに、新しい視点を教えてくれるはずですが。

疲れたら音楽はいかがですか。2階の東側の奥にLPやCD、VTRを鑑賞するコーナーがありますから、カウンターの一覧表を見て借り出して楽しんでください。月2回、3階のAVルームで本格的な「ライブラリー・コンサート」を開いていますから、こちらにもどうぞ。

いくつもの種類の雑誌が2階閲覧室の西の奥にありますから、どんな雑誌が読めるのか、確認しておくのも悪くないですね。

書架を巡り歩くよりも手早く、と思う方はカウンター横のコンピュータの操作で所蔵目録の検索を試みましょう。操作や探し方が分からなければ、遠慮せず係りの者に聞いて下さい。レファレンスは皆さんの読書相談が仕事なのです。本学の図書館に無い資料も、調べて取り寄せたり、購入希望に応じることできますから、これまた遠慮せず申し出てください。

書物との出会いは、人との出会いと同じように、私たちの心を癒し、豊かにしてくれるすてきな機会です。図書館は、その出会いをいつでも皆さんのために用意しています。雨の日も、晴れた日も、いつでも気の向いたときにお越しください。では、また、お会いしましょう。お待ちしております。

アンケート
特集

目次

- 図書館雑感..... 2
- 図書館委員が薦めるこの三冊..... 3
- 図書館に対する学生アンケート結果について..... 4~8
- 平成11年度総合図書館開館スケジュール..... 9
- 最近入った図書の一部紹介..... 9
- 総合図書館インフォメーション..... 10

総合図書館委員
内村瑠美子

学生時代を別にすれば、じつは私はあまり図書館を利用してこなかった。教育・研究にたずさわる者として、もちろん書物が必要ないわけではない。ではどうしてきたかという、書物を自分で買うのである。これは日本の教育者・研究者の多くがとっている方法だろう。フランス文学を研究している私の場合でいえば、日本の代理店を通してフランスからも取り寄せる。フランスに行ったときには、集中的に買ってくる。それでも不足な文献は国内外の図書館に依頼してコピーを送ってもらう……こうして「自分だけの本」は研究室と自宅の空間を占領していく。なんとも疲れる作業でありお金もかかる。図書館に行けば何でも必要な本があるべきだとは思ふ。しかしこれは無理というものだろう。それに、新書古書を問わず、どうしても自分の本として撫でさすりながら持っていたい「愛蔵書」というものもあるのだ。

衛星放送でフランスのテレビニュースを見ていたら、パリに第二の国立図書館が誕生したと報じていた。ハイテクノロジーを駆使した図書館とのことだが、私の目を引いたのは、インタビューに答えている利用者の姿だった。「図書館のネズミ」のひとりである。何ヶ月もあるいは何年も、図書館に椅子を占めて勉強・研究を続けているひとを、からかい気味に愛情をこめてこう呼んでいる。他の国の図書館事情は知らないのでフランスに限ると、作家や研究者でも「自分だけの本」を大量に私蔵している人は少ない。多くは図書館を利用しているのだ。たとえばシモーヌ・ド・ボーヴォワール女史が、女性史のバイブルともなっている大著『第二の性』を書いたのは図書館とカフェでだった。珍しいことではない。もともと図書館は、カフェのように誰にでも開かれている場なのである。

図書館は大きく変わりつつある。ひとつの図書館

になにもかにもが揃っている必要はなくなった。本学の図書館でも、パソコンひとつで国内外の図書館とあの本この本と、電子に乗って融通しあえるようになっているのだという。テクノロジー音痴の私にはびっくり仰天である。世の中まことに便利になったものだ。だが、電子に乗って本を求めまくればよいというものでもないだろう。また「図書館のネズミ」になるのもほんの一握りのひとたちにちがいない。図書館は、多くのひとにとっては、気軽に入れるカフェのようなものであり続けてほしい。

最後にこの場を借りて個人的に宣伝をひとつさせて頂く。「オヴニー」というミニコミ紙を本学の図書館に置かせてもらっている。フランスで暮らしている日本人向けにパリで月二回発行されているが、日本でもフランスに関心があるひとによく読まれている。

(教養部 教授)



図書館委員が薦めるこの三冊

総合図書館委員
飯田昌二

1. 新トロイア物語 講談社文庫 阿刀田 高

ホメロスのイーリアス（岩波文庫）の物語りはシュリーマンの発掘（岩波文庫、古代への情熱）で事実である事が判った。トロイアはギリシャと海上貿易の覇権を争った事は地政上考えられる。そうでなければトロイアに逃げたヘレンを返せと10年も戦った理由が見出せない。イーリアスに殆ど述べられてないギリシア連合軍の遠征の様子が、著者により詳しく述べられている。又、トロイア滅亡は木馬でなく、石壁に今も残る多くのひび割れで地震であろうと著者は推定している。この本には当時の風俗、習慣も記されていて面白い。ここで強調したいのは、トロイア滅亡後、辛じて逃れた王一族のアイネアスとその仲間が如何に苦心してイタリアに辿りつき、ローマ帝国の基礎を作ったかという事である。最近までイタリアの上流階級の人々は、自分がトロイア人の末裔である事を誇っていた由である。但しアイネアスの話はローマ帝国誕生の800年も前の事である。著者の綿密な調査を基にして、史実と虚構がうまく組み合わせられて、全て本当らしい楽しめる歴史小説の形になっている。古代地中海文明を知る上でも、又、ローマ時代とギリシャ諸国の関係を知るためにも、滅亡したトロイアがローマ帝国を建設したという歴史の重みを感じるにも十分な内容が織り込まれている。そして面白い一冊である。



2. 西遊記 岩波文庫 (1~10) 小野 忍 中野 美代子訳

御存知孫悟空の話である。西遊記は数え切れない異本、類本が出て、英文（ペリカンブックス）でも出版されている。この岩波文庫は原典を忠実に訳したものであるという。何事も原典は全ての基本だから大切である。物語の内容はいろいろ解釈できる。「悟空の初志貫徹」「悪ガキの再評価」「仏や天帝の支配する世界はカースト制度である」「化け物の能力に限界がある」「仙人臭い話が次第に人間臭い話に変る」「話は矛盾だらけだが、そこが面白い」等多くの分析ができる。この本は唐の時代に三蔵法師が実際インドに経典を取りに行った「大唐西域記」に由来している事は知られている。三蔵がインドに着いた時、仏教は殆ど滅亡していたので、彼の持ち帰った経典は仏教から

ヒンズー教あたりまで、ごちゃ混のものであったらしい。そのため経典の解釈に混乱を招いた事はオシャカ様も御存知ない。加えて、仏教（他の宗教もそうだが）は江戸時代の学者富永仲基の「出定後語」により風土に根ざした幻術に近いものと批判されている。幻術なら化け物が出てもおかしくない。司馬遼太郎によれば、この説の反論はまだ無い由である。だから西遊記は原典をいろいろ調べると多くの学際問題が展けてくる筈である。しかしこの文庫本を読む限り、その様な理屈は抜きにして、読んで面白い事に盡きる。これは千一夜物語がコマ切であるのに対し、話が一貫している事も安心して読める要因であろう。尚、訳者が二人なのは、始めの小野氏が途中で亡くなられたので中野氏があとを引継いだためである。しかし二人の文章の差異は読んでいても殆ど判らない。

3. 量子力学と私 岩波文庫 朝永 振一郎

今世紀物理上での最大の発見は相対論と量子論である、と云われている。著者は文字通り量子論初期の立上げから理論の基礎を築いた第一人者である。量子論の形がほぼ固まったのが約40年前であり、その当時に書かれた著者の教科書は平易で、高度な内容が盛り込まれていて現在も役立っている。この文庫は著者の人柄がそのまま滲み出た様に楽しい。無駄のない語り口で書かれている。だから専門外の誰にでも理解される内容である。特に最近では生物や医学の遺伝子の話に量子論が出てくるので、むしろ文系の人々に常識として知って欲しい内容が盛り込まれている。著者は米国のファインマンやシュウインガー等とは独立に1947年にくりこみ理論を完成し、「量子電磁気学の基礎的研究」で、この三人は1965年ノーベル賞を授与された。この文庫は、著者が数多く執筆された中から判り易いものを選択して編集されたものである。その中で、微細粒子の持つ粒子性と波動性の共存を「光子の裁判」という大変面白い物語で、数式を全く使わずに、説明している。この内容は、我々が数式を使って講義するよりもっと理解され易いのではないかと考えられる。他にノーベル賞受賞時の講演（英文）が入っており、くりこみ理論がどの様にして作られていったか語られていて大変興味深い。この本は何回読んでも飽きないし、読む度に何か新しい事に気付く。何より、読んでいる時生前の著者の少し痩せ気味の、飄々とした姿が目に見えかしてくる。多くの方々に是非一読して頂きたい一冊である。（工学部 教授）

図書館に対する学生アンケート結果について (1)

「図書館だより」は利用者と本学図書館とのコミュニケーションとして図書館の新情報をお届けしています。今回は学生アンケートの結果を通じていろいろな利用の仕方（図書館サービス）をご紹介します。実りのあるキャンパスライフのために、大いに活用してください。

◎はじめに

今後の図書館サービス活動の参考資料とする為アンケートを実施しました。調査は今年1月下旬に館内でアンケートを配付し、2階出口に回収ボックスを設置した結果、544通の回答が得られました。回答を頂いた方に、この場を借りてお礼申し上げます。

1.回収結果について (回収数と回収率)

・学生全体の約5%の意見です。

年次	経 営	経 済	工 学	短 大	合 計
1年次	38 (4.1)	68 (14.3)	76 (6.7)	27 (6.5)	209 (7.1%)
2年次	44 (5.1)	48 (10.5)	52 (4.8)	9 (2.4)	153 (5.5%)
3年次	45 (4.2)	40 (7.2)	52 (4.2)	—	137 (4.7%)
4年次	18 (1.9)	8 (1.6)	19 (1.7)	—	45 (1.7%)
計	145 (3.8)	164 (8.3)	199 (4.3)	36 (4.6)	544 (4.8%)

2.図書館の利用頻度を教えてください。

・回答した多くの学生は「③週1、2回程度」(31.1%)は利用している。次に「⑥試験期のみ」(18.4%)「②週3、4回程度」(18.0%)となり図書館の利用頻度が高いと考えます。

回 答 項 目	回 生				合 計
	1	2	3	4	
①ほとんど毎日	31	16	10	3	60 (11.1%)
②週3・4回程度	46	19	27	6	98 (18.0%)
③週1・2回程度	62	56	38	13	169 (31.1%)
④月2・3回程度	25	19	15	10	69 (12.7%)
⑤月1回程度	11	11	8	4	34 (6.3%)
⑥試験期のみ	28	29	34	9	100 (18.4%)
⑦ほとんど利用しない	5	3	3	—	11 (2.0%)
⑧1度も利用したことがない	1	—	1	—	2 (0.4%)
⑨空白	—	—	1	—	1 (0.1%)
合 計	209	153	137	45	544 (100%)

3.図書館の印象(雰囲気など)は どうですか。

・図書館の印象は「①使いやすい」(36.2%)、「⑤騒がしい」(25.4%)、「③落ちついている」(23.0%)の順です。特に2番目の「騒がしい」は、アンケート実施日が試験期間中であり、通常の約2倍(一日平均約4,000人)の利用がある為と考えられます。全体的に使いやすく、落ちついているという印象が強いです。

回 答 項 目	回 生				合 計
	1	2	3	4	
①使いやすい	78	54	53	12	197 (36.2%)
②使いにくい	16	22	15	6	59 (10.8%)
③落ちついている	54	38	25	8	125 (23.0%)
④静か	9	4	5	3	21 (3.9%)
⑤騒がしい	50	34	38	16	138 (25.4%)
⑥空白	2	1	1	—	4 (0.7%)
合 計	209	153	137	45	544 (100%)

4. 図書館をどのような目的で利用していますか。

・利用目的では「①調べ物のため」(43.0%)「④勉強するため」(28.5%)の回答が多い。実際にアンケートに配布していて真剣に勉強している学生が多い事も実感しました。「⑤友人と待ち合わせのため」(2.4%)、「⑥授業前の待ち時間のため」(10.3%)と意外と少数ですがいました。

回答項目	回 生				合 計
	1	2	3	4	
①調べ物のため	77	74	63	20	234 (43.0%)
②本を借りるため	13	8	16	7	44 (8.1%)
③新聞雑誌を見るため	12	6	7	2	27 (5.0%)
④勉強するため	64	39	41	11	155 (28.5%)
⑤友人と待ち合わせのため	6	5	1	1	13 (2.4%)
⑥授業前の待ち時間のため	28	19	6	3	56 (10.3%)
⑦その他	6	2	2	1	11 (2.0%)
⑧利用しない	1	—	—	—	1 (0.2%)
⑨空白	2	—	1	—	3 (0.6%)
合 計	209	153	137	45	544 (100%)

5. 図書館の中で好きな場所 (コーナー) ランキング

・図書館の中で好きな場所 (コーナー) は「一般雑誌コーナー」(12.6%)「閲覧座席」(12.3%)、「ラウンジ」(11.0%)、「オーディオコーナー」(10.2%)の順で、4位までは図書館の中で、ゆっくりリラックスできる場所でもあります。意外なのは11位の「学術雑誌コーナー」です。本学は自動車関連学科の関係で「月刊自動車」「CAR GRAPHIC」「モーターサイクリスト」「AUTO MOTOR AND SPORT」「AUTO MOBIL」等も置いています。

順位	好きな場所 (コーナー)	全 体
1	一般雑誌コーナー	135 (12.6%)
2	閲覧座席	131 (12.3%)
3	ラウンジ	118 (11.0%)
4	オーディオコーナー(2F)	109 (10.2%)
5	参考図書コーナー	99 (9.3%)
6	一般新聞コーナー	97 (9.1%)
7	ロビー	80 (7.5%)
8	新着図書コーナー	65 (6.1%)
9	OPAC (コンピュータ検索)	53 (5.0%)
10	AVルーム (3F)	51 (4.8%)
11	学術雑誌コーナー	18 (1.7%)
12	就職コーナー (3F)	10 (1.0%)
13	予約閲覧席 (3F)	8 (0.7%)
14	展示コーナー	4 (0.4%)
15	その他空白	91 (8.5%)

その他———1人用キャレル (机)

6. 好きな一般雑誌ランキング

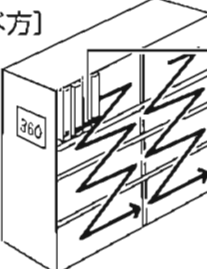
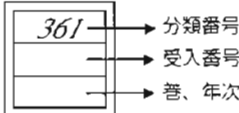
・「CDでーた」(23.3%)がダントツで1位でした。次に「Lマガジン」(7.5%)「スパ」(6.2%)と続きます。希望雑誌としては「関西ウォーカー」(59%)がすごい人気。続いて「カー雑誌」(15%)「ナンバー (スポーツ紙)」(9.8%)・・・今後の雑誌購入に際し検討したいと考えます。

その他 希望する一般雑誌	
1. 関西ウォーカー	36
2. 自動車関係	9
3. ナンバー (サッカー関係)	6
4. ノンノ	6
5. ぴあ	2
6. スクリーン	2
7. その他	

順位	好きな一般雑誌 (所蔵分)	全 体
1	CDでーた	253 (23.3%)
2	Lマガジン	82 (7.5%)
3	スパ	67 (6.2%)
4	FMファン	63 (5.8%)
5	アエラ	51 (4.7%)
//	シュシュ	51 (4.7%)
6	週刊朝日	44 (4.0%)
7	鉄道ジャーナル	34 (3.1%)
8	週刊新潮	31 (2.8%)
9	アサヒパソコン	30 (2.7%)
//	キネマ旬報	30 (2.7%)
10	サンデー毎日	29 (2.6%)
11	モア	25 (2.3%)
12	ターザン	18 (1.7%)
13	ニューズウィーク	16 (1.5%)
14	タイム	13 (1.2%)
15	プレジデント	12 (1.1%)
16	ライフ	11 (1.0%)
17	アサヒグラフ	9 (0.8%)
18	レコード芸術	8 (0.7%)
19	アミューズ	7 (0.6%)
20	その他	204 (18.8%)

図書館に対する学生アンケート結果について (2)

7. 教えてほしい図書館サービスベスト7

順位	サービス名	内 容
1	CD-ROM情報検索サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・光ディスク (CD)に収められた情報にパソコンを使用してアクセスします。2階カウンターに設置しています。 ・CD-ROMの利用時間は10:00~18:00です。 1) 科学技術文献速報 ('95~) <ul style="list-style-type: none"> ・管理、システム技術編・金属工学、鉱山工学 ・物理、応用物理編・地球科学編 ・環境公害編・機械工学編 ・土木、建築工学編・化学、化学工業編 (外国) ・エネルギー編・電気工学編 2) CD-HIASK ('92~) 朝日新聞記事データ 3) 日本経済新聞 ('90~) 4) 日本産業新聞・日経金融新聞・日経流通新聞 ('95、96) 5) 雑誌記事索引 (国立国会図書館が収集した雑誌記事を編集。) 6) 季刊「書誌ナビ」(98、10月まで) <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、新聞記事を「キーワード」等で内容を検索、印刷できます。上記CD-ROM情報検索サービスの印刷が出来ます。但し、1枚10円となります。
2	ILL (Inter Library Loanの略)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の求めに応じて自館にない資料を他機関から取り寄せたり、提供したりする図書館間の相互協力のことです。 ・2階レファレンスコーナーで受付けています。
3	OPAC (オーパック: Online Public Access Catalog)	<ul style="list-style-type: none"> ・「キーワード」「書名」「著者名」「分類」等の一つから図書の所在状況などを調べることができるコンピュータです。2階に7台、4階に2台設置しています。
4	購入希望図書	<ul style="list-style-type: none"> 購入してほしい本 (図書)、視聴覚資料があれば2階カウンターの前にある「リクエスト申込み用紙」に記入して下さい。
5	図書の分類	<p>図書を一定の体系により、分類することです。本学図書館では、日本十進分類法 (NDC) の体系にしたがって分類しています。この分類法は1~9までの9つに分けそれ以外は0とし、それから細かく区分する方法です。こうして得られた分類番号は、請求番号として、図書の背の部分に書かれ、書架に収められています。この表は、図書館内に掲示してありますので利用の際に参考にして下さい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>[資料の並べ方]</p>  <p>左から右へ、 上から下へ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>[請求記号]</p>  <p>分類番号 受入番号 巻、年次</p> </div> </div>
6	レファレンスサービス	<ul style="list-style-type: none"> 学習、研究の際に生じる様々な問題について、手助けとなるサービスです。図書館の利用、資料の利用に関すること。文献の検索に関することなどについての質問に応じたり、必要な調査を行ったりします。
7	開架図書、閉架図書	<ul style="list-style-type: none"> ・開架図書は、自由に図書や雑誌などの資料を手に行ける状態。 ・閉架図書はその反対で、利用者が自由に出入り出来ない書庫に保管されている状態。本学は、1階「製本雑誌」、4階「洋書」は閉架図書となり、必要時にはカウンターへ申し出れば利用できます。但し、貸出しはできません。

その他.教えてほしいサービス

順位	サービス名	内 容
①	3階AVルームの利用方法	・AVルームには世界一級オーディオシステムと映像設備を設置。「ゼミ」「ライブラリー・コンサート」「研修会」などに利用しています。但し、個人の利用は出来ません。
②	CD、レコード、ビデオの使い方	・オーディオコーナーには、ビデオテープ (VHS)、レーザーディスク (LD)、コンパクトディスク (CD) レコード (LP) が利用できます。利用方法は、2階カウンターで利用希望資料を選び、申込書に学生証を添えて、提出して下さい。但し、貸出しは不可。最近の音楽、映画、スポーツに関するもの、専門教育の各分野にわたる資料 (ソフト) を準備しています。
③	新着ビデオの掲示	・2階カウンターにあるCD、ビデオのファイルの最後に表示しています。
④	就職コーナーの場所	・3階に上がった所のカウンターで囲まれた部分です。「就職ジャーナル」「月刊スーパービジネスマン」「THE21」等就職関連図書が多く、各種資格に関する資料も用意しています。

以上の図書館サービスをマスターすれば、
あなたは「**利用者のプロ**」です。

8.推薦する図書ベスト7

順位	書 名	著 者 名
①	竜馬が行く	司馬遼太郎
②	アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス
③	リング	鈴木光司
④	遺書	松本人志
⑤	ソフィーの世界	ヨースタイン・ゴルデル
⑥	三国志	吉川英治
⑦	芥川龍之介作品集	



図書館に対する学生アンケート結果について (3)

9. 今後図書館に対して、図書館資料、図書館員、図書館利用等図書館に関する意見・要望等を記入して下さい。

・設問に対し76名(14%)の意見、要望を得ました。その主な項目を掲げます。

(1)、利用サービス——28件

- ①開館日数・時間を増やしてほしい。
- ②閲覧室をもっと解放してほしい。
- <①、②は、人員の問題、利用頻度、管理の問題がありますが今後は、検討課題としていきます。>
- ③私語、携帯電話がうるさい。(注意してほしい)
- ④学生に図書館は休憩場所でないことを教えてあげて下さい。
- <静かな使いやすい図書館にする為、携帯電話の使用禁止及び静粛にすることを明記していますが守らない者が多く、その都度注意しています。皆様のご協力をお願いします。>

(2)、施設、設備について、——13件

- ①冬の暖房が効き過ぎ、地球にやさしく。
- <平成11年度初めに図書館独自の空調コントロールが可能となる為、適正な温度設定の予定です。>
- ②コピー機を増やしてほしい。
- ③閲覧用個人席がほしい。
- <管理面、予算面もあり、難しいですが、今後は検討していきます。>

(3)、図書館員の対応について、注意の仕方が悪い——11件

<図書館員の対応が悪いことについて、今後は改善していきませんが、特にマナーの悪い学生に対し厳しく命令する事も理解していただきたい。>

(4)、図書、雑誌に関して——24件

- ①新しい文学(小説)を増やして欲しい。
- ②経営学部及び建築インテリアに関する本、雑誌が少ない。
- <毎年、学生用及び専門図書として約1万冊購入していますが、予算の制約があります。もし、購入希望の図書があればリクエスト申込みをして下さい。>
- ③エッセイ、スポーツ、車関係の雑誌を増やしてほしい。
- <今回のアンケートにより、現在検討中です。>

おわりに

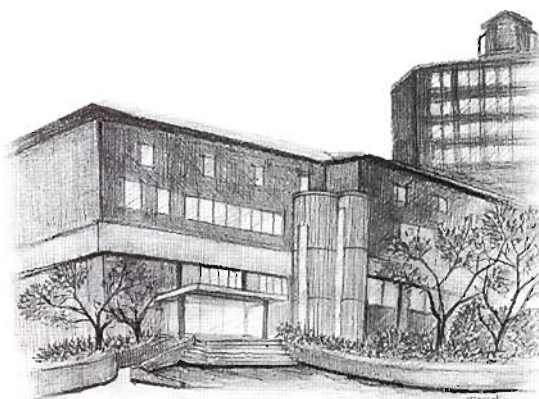
図書館の利用動向としてアンケートの97%が「全体的に図書館をよく利用している」、84.6%が「いい印象を持っている」、80%が「学習目的」で利用していると図書館運営上、感触がいい。このアンケートは図書館利用者を中心に配布したアンケートである為、他の一般学生に配布すると異なる結果になるかもしれません。設問のご意見・ご要望に対しても多くの回答があり、できる限り図書館サービスの向上に努め、魅力ある図書館づくりを目指し、充実させていきたいと思っています。

「図書館だより」原稿募集

「最近出合った本」「面白い本」等図書に関する事・読書の感想・AV視聴の感想・エッセイ・小論文「図書館だより」の企画・図書館に対するメッセージ等を募集します。

- 400字語原稿用紙で2枚以内、又はワープロの原稿(20字×40字)
- 提出は3階事務所です。
- 資格は、図書館を利用する人であれば、だれでも結構です。
- 締切りは、平成11年8月末日とします。
- 採用した方には、図書券を進呈します。

どしどしお寄せください。



平成11年度総合図書館開館スケジュール

平成11年	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土
6月			1	2	3	4	5	7月					1	2	3	8月	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	⑥	7	8	9	10	11	12		④	5	6	7	8	9	10		⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	⑬	14	15	16	17	18	19		⑪	12	13	14	15	16	17		⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	㉑	㉒
	⑳	21	22	23	24	㉕	26		⑱	19	㉒	21	22	23	24		㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙
	27	28	29	30				㉕	26	27	㉘	㉙	30	31	㉚	30	31						
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土
9月				①	②	③	④	10月						1	2	11月	①	②	③	④	5	6	
	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		③	4	5	6	7	8	9		⑦	8	9	10	11	12	13
	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱		⑩	⑪	12	13	14	15	16		⑭	15	16	17	18	19	20
	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕		⑰	18	19	20	21	22	23		㉑	22	㉓	24	㉕	㉖	㉗
	26	27	28	29	30			㉔	25	26	27	28	29	㉓	㉘	29	30						
	日	月	火	水	木	金	土	㉓							㉓								
12月				1	2	3	4	平成12年 1月						①	2月			①	②	③	④	⑤	
	⑤	6	7	8	9	10	11		②	③	④	⑤	⑥	⑦		8	⑥	7	8	9	10	⑪	12
	⑫	13	14	15	16	17	18		⑨	⑩	11	12	13	14		15	⑬	14	15	16	17	18	⑲
	⑲	20	21	㉒	㉓	24	25		⑯	17	18	19	20	21		22	⑳	21	㉒	23	24	25	㉖
	26	27	28	29	30	31		㉒	24	25	26	27	28	㉑	㉗	28	29						
	日	月	火	水	木	金	土	㉑	30	31					㉑								
3月				①	②	③	4																
	⑤	⑥	7	8	9	10	11																
	⑫	⑬	14	15	16	17	18																
	⑲	20	21	22	23	24	25																
	26	27	28	29	30	31																	

○内：休館日
 ■内：平日16：30・土曜日12：00の閉館時間
 □内：夏期期間中(7月28日～9月14日)の開館日
 (開館時間は10：30～15：30・木曜日のみ10：30～18：30)

(注)：大学行事等により、開館日・開館時間を変更する場合は、事前に告知します。

最近入った図書の一部紹介(下記の図書がすでに貸出されている場合、予約ができます。カウンターで手続きをすればその図書が返却されたとき、優先して借りられます。)

書名	著者名	請求番号
デジタルチルドレン	ドン・タプスコット著	007.3/82
世界の古典名著：総解説 改訂版	自由国民社	028/9
大学で学ぶべきこと、学ばなくてもよいこと	藤田小彌太著	159.7/7
関西ベスト[留学生用の関西ガイドブック]	ジョン・F. アシュバーン著	291.6/6
ボンジュールジャポン：フランス青年が活写した1882年	ワグ・クラフト著	291.09/18
新・アジアを読む地図	大園友和著	302.2/33
有力企業の社会貢献度	朝日新聞文化財団編	335.13/39
新しい人づきあいの心理学	安本美典著	361.4/31
科学研究ガイド：充実した大学院生活のために	R. J. ベイノン著	407/15
日本の自然災害	国会資料編纂会編	450.98/2
明石海峡大橋：夢は海峡を渡る	鳥田喜十郎著	515.57/2
ダイオキシン類のはなし	酒井伸一著	519/164
CGでよみがえる古代都市	大成建設設計本部編	520.2/4
FRPボディとその成形法	浜素紀著	557.1/9
旅先通信ガイドブック	旅先通信研究所著	547.48/207
日本のサービス価格はどう決まるのか	伊藤元重著	673.9/22
日本の鉄道こぼれ話	沢和哉著	686.21/28
映像文学にみるアメリカ	日本マラッド協会編	778.25/2
京洛四季	東山魁夷絵・文	721.9/3
外国人の疑問に英語で答える本	マーガレット・プライス著	837.8/42
コミュニケーション技法	松岡洗司編	810.7/22
岩波文庫の黄帯と緑帯を読む	門谷健蔵著	910.4/2
青雲はるかに 上・下	宮城谷昌光著	913.6/141/1-2
敵	筒井康隆著	913.6/42
アンダーグラウンド	村上善樹著	916/21

総合図書館インフォメーション

1.開館時間 ●図書館は通常9時～20時30分、土曜日は9時～19時20分の間、開館しています。(但し、貸出、返却、レファレンスは通常9時30分～20時、土曜日は9時30分～19時)
●都合により変更することがあります。

2.休館日 ●日曜日・国民の休日、本学創立記念日(11月1日)
●館内整理日(毎月の25日、当日が休日の場合は翌日)
●臨時の休館日は、その都度掲示します。

3.貸出冊数と期間

種別	冊数	期間
学生	5	2週間
大学院学生 非常勤講師	30	5カ月
本学職員	90	1カ年

<注意>

借りた本は、期日までに返却してください。
次に借りたい人のためにも迷惑がかかりますので注意してください。返却期間を過ぎた場合、延滞日数の倍日数だけ貸出を停止します。

ライブラリー・コンサート

- 場所：総合図書館3階AVルーム
- 日時：第1月曜、第3木曜日(12:20～14:00)
- プログラムは、図書館玄関に置いています。



図書館では、図書だけでなく音楽と映像を楽しむAVルームがあります。音楽は心の宇宙。全てをプライベート空間に浮遊させ、そのひとときを享受してみましょ。五感に新しいエネルギーが満ちあふれます。

後援会寄贈について

本学後援会から総合図書館に対して毎年学生用資料を寄贈していただいておりますが、昨年度は学生が紀伊屋書店梅田本店で選書した図書及び学生用図書として629冊(100万円分)を寄贈していただきました。ここに感謝し、厚く御礼申し上げます。



編集後記

日本で31年来の脳死臓器移植が行われた。以前から賛否両論があり当然大変なさわざであったが、しかし生前からドナーカードを用意し、臓器提供をされた女性とご家族については、ある種複雑な感動と畏敬の念を覚えた。それとは決して比較にならないが、私個人にあてはめれば、今まで生きて来た中で出会った友人、職場の人たち、又様々な図書から“知識移植”を受けてきた様に考える。それら

一つ一つが自らに知識や知恵となって与えられ、現在がある。そう考えると先人達が残してくれた偉大なる様々な有形無形の財産をどう“知識移植”し、そしてそれをいかに高めていくかは個々の心のとらえ方にあると思う。

ご多忙中、今号の編集にご協力くださいました皆様方に厚くお礼申し上げます。

(H.S)

図書館だより No.4

発行日 平成11年5月17日

編集・発行 大阪産業大学総合図書館

大阪府大東市中垣内3丁目1-1

TeI.0720(75)3001(代)

Fax.0720(73)1664



この印刷物は、環境保護のため、エコマーク認定の再生紙を使用しています。